

しっかりと理解してほしいです。

学校の経営者として、「香芝北中学校を、こんな学校にしたい!」と考え、それを具体化したものがグランドデザインというものです。

5月16日(月)の午前、令和4年度の第1回学校運営協議会が開かれ、その場で校長としてグランドデザインをはじめ、本年度の学校経営案を委員のみなさんに提案しました。めっちゃ熱く語らせていただきました。採決の結果、12名の委員さん全員一致で承認されました。ホッとしたと同時に、身が引き締まる思いです。

実はこのグランドデザインについて、昨年度末に実施した『学校評価アンケート』の結果、「私は学校教育目標(グランドデザイン)の内容を知っている」という設問に対する肯定的な回答(「よく知っている」「どちらかと言うと知っている」)が生徒52.6%、保護者41.7%でした。前年度に比べてやや高まってはいるものの、まだまだ十分でないと感じました。

そこで、今年度は昨年度以上に気合いを入れて、生徒のみなさん、そして保護者のみなさんにしっかりと説明させていただきたいと思います。少し説明が長くなりますが、最後まで読んでくださいね。

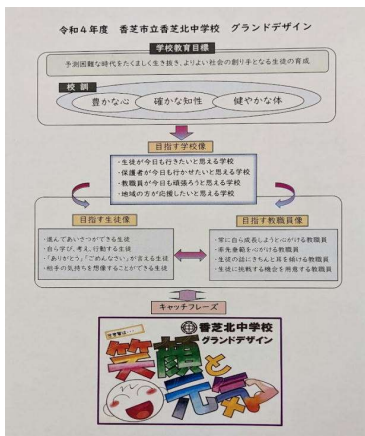
1. 学校教育目標

「予測困難な時代をたくましく生き抜き、よりよい社会の創り手となる生徒の育成」

みなさんは『Society5.0』(ソサエティ5.0)って言葉を聞いたことがありますか? 2016年に「日本が目指すべき未来社会の姿」として政府が発表しました。人工知能(AI)の登場やロボット、自動走行車などの技術により、貧富の格差などの様々な課題を解決するとされています。どんどん便利になる一方で、人間が果たす役割が変わってきます。今存在している職業(仕事)が数多くなくなると言われています。我々大人の誰もが経験したことのない社会になっていきます。

また地震や異常気象など度重なる自然災害が次々に起こっています。加えて新型コロナウイルスの出現です。

これらのことから、今後の社会がどのようになるのか、本当に予測できない状況です。10年後、みなさんはそんな社会に出て行くことになる訳です。決して不安をあおろうとは思いません。しかし、みなさんには「これからの社会でたくましく生きていくんだ!」という意味というか覚悟を中学生段階から持ってほしいんです。



学ぶことで得た知識や知恵、また経験したことは生きる上での重要な武器になります。「高校に行くために学ぶ」と考えるのではなく、社会に出た時、たくましく生き抜いていくために今しっかりと学んでほしいと思っています。

2. 目指す生徒像



進んであいさつができる生徒

あいさつの大切さは今さら言うまでもないですね。「(自分から)進んで」がポイントですね。人間関係の構築の第一歩になります。形だけでなく、しっかりと相手の目を見てあいさつできたらいいですね。

自ら学び、考え、行動する生徒

主体的(前のめり)に学ぶことは本当に大事です。先程の繰り返しになりますが、「テストがあるから」とか「受験があるから」とか、それだけが学ぶ目的ではないよ。身につけた学力は生きる力になる! そして考えることの大切さ。判断力っていうのかな。社会に出たら判断(決断)しなければならないことがものすごく多いです。その都度、しっかり考えて、ベストだと思う答えを出さないといけません!さらに行動することの大切さ。考えただけで行動しなきゃ何も始まらない。自分の判断を信じ、ひたすら行動することで道が開けると思います。。

「ありがとう」「ごめんなさい」が言える生徒

心の中で思うだけでなく、はっきりと言葉に出して伝えることはものすごく大切です。「ありがとう」「ごめんなさい」、この2つは『魔法のことば』だと思います。人間関係を良好にする素晴らしい言葉です。世の中には「謝ったら負け。」みたいに思っている人が少なからずいるようですが、そんなことはないです。「しまった!」と思ったら自分の非を認めて「ごめんなさい!」と言おう。また、誰かが自分のために何かやってくれたら、迷わず「ありがとう!」と言おう。



相手の気持ちを想像することができる生徒



「相手の立場に立って考えなさい!」よく言いますよね。「こんな態度をとってしまったら相手はどう思うだろうか」「この一言を相手はどう受け取るだろうか」etc. メール等文字や絵文字でのコミュニケーションが増えてきた昨今、字になっていない行間部分を読む力(想像力)が以前にも増して必要になっています。自分の考えだけに凝り固まらず、時には相手の立場にたって考える習慣を大切にしてください。